



【平成30年度・第2次筆記試験】

事例Ⅲ（生産・技術戦略） 模範解答例

（この解答例は、11月2日16:00 現在のものです）

第1問（配点20点）

理由は、①金型設計・製作部門を持ち、技術力強化により、顧客企業の成型加工品のコスト低減ノウハウを得たため、②工業団地組合の共同開発等の活動により、助け合ったため。（80字）

第2問（配点20点）

問題点は、作業や成型機の待ち時間が多いため作業効率が悪いことである。改善点は、①先に製造する製品の待ち時間に次の製品の金型と材料の移動を行い、段取り作業を短縮する、②成型機に投入する製品順番を見直し、昼休みの設備稼働率を上げる、ことである。（120字）

第3問（配点20点）

問題点は、生産効率を優先した生産計画により、製品在庫が過大な点である。改善策は、各設備の能力、稼働状況を考慮して原則週1回成形加工を行う計画から、毎日の指定納品数量を毎日成形加工する計画に変更し、ジャストインタイム生産に移行することである。（120字）

第4問（配点20点）

事前に整備すべき内容は、①支給品を含め金型の識別コードを社内で統一し、ベテラン以外でも金型を探せるように金型置き場の整理整頓を行い保管場所を固定すること、②材料探索の手間を簡略化するために、材料倉庫の材料の納品位置を固定すること、である。（120字）

第5問（配点20点）

戦略は、①大手電気・電子部品メーカーに対し、②顧客企業の工程数の短縮や納期の短縮、コスト削減に寄与できる成型加工品を、③C社のインサート成型技術と成形加工品のコスト低減ノウハウを活用し工業団地内の関連企業と連携して開発し提供する、ことである。（120字）

文責：AAS 東京 早坂健治

2次試験で悩んだら、ぜひAAS東京へお越しください！

本科講座や合格判定合宿、アシストゼミ、公開模試の開催を通して、
中小企業診断士2次試験への「明確な事例解法」を提供しています。
診断士受験生応援ブログ「合格アミーゴス」も毎日執筆中です！

aas 東京

検索